

# (1) 野菜種子の消毒

## 1 農薬による種子消毒

防 除 法	備 考
<p>(1) イプロジオン水和剤（ロブラール水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニンジン 黒葉枯病 …種子重量の0.5%を粉衣する。</li> <li>・野菜類 アルタナリア菌による病害 …種子重量の0.5%を種子処理機により粉衣する。</li> </ul> <p>(2) イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（ベルコート水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニンジン 黒葉枯病 …乾燥種子重量の0.5%を粉衣する。</li> </ul> <p>(3) オキシテトラサイクリン水和剤（マイコシールド）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ 斑点細菌病 …1500倍液に1～2時間浸漬する。</li> </ul> <p>(4) キャプタン水和剤（オーソサイド水和剤80）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、メロン、スイカ、シロウリ、カボチャ 苗立枯病 …種子重量の0.2～0.4%を粉衣する。</li> <li>・未成熟トウモロコシ、野菜類 ピシウム・リゾクトニア菌による病害（苗立枯病等） …種子重量の0.2～0.4%を種子処理機により粉衣する。</li> </ul> <p>(5) シアゾファミド水和剤（ランマンフロアブル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エダマメ 茎疫病 …種子重量の2%の原液を塗抹する。</li> </ul> <p>(6) チアメトキサム・フルジオキソニル・メタラキシルM水和剤（クルーザーMAXX）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エダマメ アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、ハト・キジバト、フタスジヒメハムシ リゾクトニア根腐病、紫斑病、苗立枯病（ピシウム菌）、茎疫病、黒根腐病、白絹病 …乾燥種子1kg当たり原液8mLを塗抹する。</li> </ul> <p>(7) チウラム水和剤（キヒゲン）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エダマメ 紫斑病、タネバエ、ハト …乾燥種子重量の1%を粉衣する。</li> <li>・トウモロコシ カラス、キジ、ハト</li> </ul> <p>チウラム水和剤（キヒゲンR-2フロアブル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エダマメ 苗立枯病、紫斑病、タネバエ</li> <li>・トウモロコシ 苗立枯病、カラス、キジ、キジバト、 …乾燥種子1kg当たり原液20mL 塗抹処理する。</li> <li>・豆類（未成熟） ハト、カラス</li> <li>・豆類（未成熟ただしエダマメを除く） 苗立枯病、タネバエ</li> </ul> <p>(8) チウラム・チオファネートメチル水和剤（ホームマイ水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ つる割病 苗立枯病 …200倍液に30～60分間浸漬又は種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。</li> <li>・ユウガオ（スイカ接木用） つる割病 …200倍液に20～30分間浸漬する。</li> <li>・トマト 萎凋病 …200倍液に20～30分間浸漬する。</li> <li>・豆類（未成熟） フザリウム・リゾクトニア菌による病害 …種子重量の0.5%を種子処理機により粉衣する。</li> <li>・野菜類（豆類（未成熟）を除く） フザリウム・リゾクトニア菌による病害（つる割病等） …種子重量の0.5%～1.0%を種子処理機により粉衣する。</li> </ul> <p>チウラム・チオファネートメチル水和剤（ホームマイコート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ 炭疽病 …種子重量の2～3%を粉衣する。</li> </ul> <p>(9) チウラム・ベノミル水和剤（ベンレートT水和剤20）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ つる割病、つる枯病、苗立枯病 …20倍液に30分間種子浸漬又は乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。</li> <li>・トマト 萎凋病 …200倍液に30分間種子浸漬又は乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。</li> <li>・スイカ、ユウガオ（スイカ接木用） つる割病 …乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。</li> <li>・トウモロコシ 苗立枯病 …乾燥種子重量の0.5%を粉衣する。</li> <li>・カボチャ フザリウム立枯病 …乾燥種子重量の0.5%を粉衣（湿粉衣）する。</li> <li>・野菜類 フザリウム・リゾクトニア菌による病害 …乾燥種子重量の0.4～0.5%を種子処理機により粉衣する。</li> </ul> <p>(10) トリフルミゾール水和剤（トリフミン水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カボチャ フザリウム立枯病 …種子重量の0.3%を粉衣（湿粉衣）する。</li> </ul> <p>(11) トルクロホスメチル水和剤（リゾレックス水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、ホウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌） …種子重量の0.5%を粉衣する。</li> <li>・サヤエンドウ、実エンドウ 茎腐病 …種子重量の0.5%を粉衣する。</li> </ul> <p>(12) フルジオキソニル水和剤（ウイスベクト水和剤5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャベツ、トマト、ホウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌） …種子重量の0.3～0.5%を粉衣する。</li> </ul> <p>フルジオキソニル水和剤（マキシム40）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャベツ、トマト、ホウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌） …乾燥種子1kg当たり原液0.52mLを種子処理機により塗抹処理する。</li> </ul> <p>(13) フルトラニル水和剤（モンカット水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ、トマト、ミニトマト 苗立枯病（リゾクトニア菌） …種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。</li> <li>・野菜類 リゾクトニア菌による病害（苗立枯病等） …種子重量の0.5～1.0%を種子処理機により粉衣する。</li> </ul> <p>フルトラニル水和剤（モンカット水和剤50）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ、トマト 苗立枯病（リゾクトニア菌） …種子重量の0.3～0.5%を粉衣する。</li> </ul>	<p>粉衣は乾燥種子を用いる。また、粉衣の際はマスクを必ず着用する。</p> <p>種子浸漬は、浸漬後水洗せず風乾してから播種する。</p> <p>湿粉衣は少量の水で湿らせた乾燥種子に薬剤を付着させ、風乾後に播種する。</p>

- ・ハウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌）・・・種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。
- (14) ベノミル水和剤（ベンレート水和剤）
- ・ミツバ 菌核病・・・500倍液に24時間種子浸漬又は種子重量の0.5%を粉衣する。
  - ・トウモロコシ、野菜類 フザリウム菌による病害  
・・・乾燥種子重量の0.16%を種子処理機により粉衣する。
- (15) ポリオキシシン水溶剤（ポリオキシシンAL水溶剤）
- ・キャベツ 黒すす病・・・20倍液に10分間種子浸漬する。
- (16) メタラキシルM液剤（エイブロン31）
- ・ハウレンソウ ベと病  
・・・乾燥種子1kg当たり原液1.07～1.78mLを種子処理機により塗抹処理する。
  - ・ハウレンソウ、野菜類 ビシウム菌による病害（苗立枯病等）  
・・・乾燥種子1kg当たり原液1.78mLを種子処理機により塗抹処理する。
- (17) メプロニル水和剤（バシタック水和剤75）
- ・ダイコン、トマト、ミニトマト、キュウリ、スイカ 苗立枯病（リゾクトニア菌）  
・・・種子重量の0.4%を粉衣する。
  - ・ネギ 黒穂病・・・乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。
  - ・ハウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌）  
・・・200倍液1時間種子浸漬又は1000倍液に24時間浸漬又は種子重量の0.4%を粉衣する。
  - ・野菜類 リゾクトニア菌による病害（苗立枯病等）  
・・・乾燥種子重量の0.4%を種子処理機により粉衣する。
- (18) TPN水和剤（ダコニール1000）
- ・ニンジン 黒葉枯病・・・乾燥種子1kg当たり12倍液60mLを吹付け処理する（種子消毒機使用）。

## 2 温湯浸法による種子消毒例

作物名	病害名	処理条件※
トマト	萎凋病	55℃～60℃で10～20分
	半身萎凋病	45℃～50℃で30分
キュウリ	かいよう病	55℃で25分
	斑点細菌病	52℃～56℃で10～20分 又は50℃で10～30分
	炭疽病	50℃で20分 又は60℃で15分
スイカ	つる割病	55℃で30分
カボチャ	フザリウム立枯病	55℃で15分
ユウガオ	つる割病	55℃で30分 又は57℃で20分 又は60℃で10分 又は69℃で2分
ダイコン	黒斑細菌病	50℃で5分
ハクサイ	黄化病	50℃で20分
	根朽病	50℃で5分
キャベツ	黒腐病	50℃で30分
	黒斑病	55℃で10～25分
	黒すす病	55℃で10～25分
	べと病	48℃～50℃で20分
	黒腐病	50℃で30分
カリフラワー	黒腐病	50℃で30分
ニンジン	斑点細菌病	50℃で20分
セルリー	葉枯病	48℃で30分
トウモロコシ	斑点病	48℃で30分
	倒伏細菌病	49℃で10分

※種子の状態や品種によって発芽障害を生じることがあるため、予備試験により発芽の状況を確認すること。  
また、処理にあたっては温度、時間を厳密に制御し、処理後は直ちに広げ冷却するとともに風乾する。

## 3 乾熱消毒法による種子消毒例

作物名	病害名	処理条件※
トマト	萎凋病	40℃で24時間予備乾燥後、75℃で7日
	根腐萎凋病	萎凋病に準ずる。
	葉かび病	70℃で2日
	ToMV	70℃で3～4日
ピーマン	PMMOV	70℃で3日
キュウリ	黒星病	70℃で2日
	斑点細菌病	70℃で3日
メロン	KGMMV	70℃で2～6日
	つる割病	70℃で3日
	つる割病(レース1, 2y)	75℃で10日
	CGMMV	70℃で3日
スイカ	えそ斑点病	70℃で3日
	炭疽病	70℃で2日
ユウガオ	CGMMV	70℃で4～7日
	つる割病	70℃で4日 又は75℃で6日 又は80℃で5日 又は40℃で24時間予備乾燥後、75℃で7日
	CGMMV	70℃で3日
カボチャ	立枯病	75℃で3日
キャベツ	黒腐病	40℃で24時間予備乾燥後、75℃で5～7日
レタス	斑点細菌病	70℃で1～4日
カリフラワー	LMV	80℃で3日
	黒斑病	60℃で120分
ネギ	萎凋病	40℃で24時間予備乾燥後、80℃で4日
トウモロコシ	倒伏細菌病	50℃で24時間予備乾燥後、70℃で7～10日

※ 種子の状態や品種によって発芽障害を生じることがあるため、予備試験により発芽の状況を確認すること。  
処理した種子を長期間貯蔵すると、発芽率が低下する場合がありますため注意する。  
乾熱処理には乾熱滅菌器など専用の装置が必要である。